

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	障害児保育園ヘレン経堂		
○保護者評価実施期間	2025年11月12日	～	2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 12名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	2025年11月19日	～	2025年12月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 20名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長時間・親子分離でのお預かりを行っている。個々の成長発達や体調変化に応じた丁寧な関わりを行っていることです。	園生活の中で様々な遊びや運動を経験し、感情や人との関わりを通して成長発達を促す環境を整えています。保護者が安心して就労できるよう、家庭とのやり取りもこまめに行なっています。	園内における多職種連携をはじめ、保護者や関係機関との連携を丁寧に実施していきます。
2	個別支援計画に関するモニタリングや日々の情報共有は、児童発達支援管理責任者をはじめとする多職種(保育士、看護師、リハビリ職など)で行っており、共通理解のもとで連携を図りながら子どもたちへ支援を提供していることです。	各クラスや各職種等のミーティングを定期的に実施し、話し合いの内容や決定事項等に関して、各スタッフが共通認識を持つことができるよう伝達・周知しています。	各ミーティングをこまめにタイムリーに実施していきます。また、園内研修の充実、外部研修も積極的に取り入れ、専門性をより高めています。
3	地域の方との交流を行っていることです。	センター内の子育てひろばを定期的に利用させていただき、交流をもっています。今年度は、センター内で合同イベントを開催し、地域のお子さんやご家族にも来園していただきました。	今後も、地域の方との交流や催し物を継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の2階にあるため、災害時の避難行動に困難が予想されることです。	災害時には、停電によりエレベーターが使用できなくなること、持ち出す医療物品も多いため、安全かつスムーズに避難する必要があります。	定期的な防災・避難訓練を行い、抱っこ紐など避難時に使用する物品の見直しや、アクションカードを用いて役割分担を行い、スムーズに避難ができるよう工夫していきます。また、必要時には他階からのヘルプをしていただけるよう、センター内での打ち合わせや実際の訓練を実施していきます。
2	近隣の保育所や幼稚園等との交流を行う機会が少ない。	近くに保育所等が少ないこともあり、交流を持つことができませんでした。しかし、同法人の一時保育室や施設内別階の子育て広場との交流を行っています。	今後も、一時保育室や子育てひろばとの交流を活発に行い、近隣の保育所等とも交流できるように整えていきます。
3			